

宮本たかし 県政 NEWS

2018春号
Vol.22

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話
ファックス **0778-22-6633**



宮本たかしからのご挨拶

拝啓
厳しかった冬がうすいような春の日となっておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。私も平成三十年度の当初予算を決める重要な議会を終え個人の活動を主とした日々を再開した所です。今回の議会は大雪に対する対応が議論の中心となりました。亡くなられた方々、被災された方々には心からのお悔やみとお見舞いの意を表すると共に、二度とこのような事態が起こらぬよう原因の分析と対応計画の改善についてしっかりとフォローして参る所存です。今後とも徹底した調査に基づいた行政チェックと提言を肝に命じ活動して参りたいと考えておりますので、尚一層の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

宮本 俊



<平成30年度当初予算・平成29年度2月補正予算について>

今回の予算編成は平成29年度の2月補正と平成30年度の当初予算が一体的に行われ、議案についても2つ予算案が同時に審議の対象となりました。また、今議会では異例の措置となりますが、議会最終日に今議会冒頭に提示された2月補正予算案とは別に、豪雪に対する支援措置として、11億円を2月補正予算に、また1億円を30年度当初予算への補正も提案され同様に審議されました。これらの予算措置により29年度一般会計予算は**4,769億円**(前年度比+1.4%)、30年度同予算は**4,791億円**(前年度比+1.5%)となりました。

<H29年度2月補正・一般会計>

(単位：億円)

既決予算	29年度 2月補正		2月現計	28年度 2月現計	増 減	伸び率 %
	2月補正	追加補正				
4,798	△40	11	4,769	4,702	67	1.4

<H30年度当初予算>

(単位：億円)

会計区分	30年度			29年度 当初予算	増 減	伸び率 %
	当初予算	補正予算	予算現計			
一般会計	4,790	1	4,791	4,719	72	1.5
特別会計	875	0	875	181	694	383.1
企業会計	369	0	369	362	7	2.0
計	6,034	1	6,035	5,262	772	14.7

今回はボリュームも大きいのでほんの一部ですが以下に気になったものについて記載します。また、個別予算の概要については県のホームページで見ることができます。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/fukuikenyosan/yosangaiyou.html>

1 豪雪対策事業

- 除排雪経費：平成30年豪雪に伴い必要となる除排雪経費の増額。
2月補正11億円・追加補正8億円
- 中小企業緊急資金利子補給事業：被災した中小企業が必要となる資金の融資について利子は5年間、保証料は全期間、全額補給。 利子補給100万円 保証料1億3100万円
- 耐雪型園芸施設など支援事業：倒壊した園芸ハウスの撤去、再整備に係る経費を支援。
2億8500万円

上記予算は2月補正、及び追加補正にて計上されたものですが、国の支援措置が不安視される中、急を要する予算であるということで県が先行して支援していくものです。37年ぶりの豪雪により市町を含めた自治体では大きなコストを支払われる結果となっています。これらの原因究明と改善策が強く望まれます。

2 健康福祉関連事業

- 子ども医療費助成事業：子どもの医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。また、30年度から、市町とともに、中学校3年生までのすべての子どもを対象に、窓口無料化(自己負担部分を除く)を実施。 8億5000万円
- 国民健康保険特別会計：平成30年度より県が国民健康保険の財政運営主体となることから、特別会計を設置し保険財政の明確化を図る。 654億円

かねてから懸案となっていた子供の医療費の窓口無料化が念願のスタートとなりました。今までは窓口無料化を行うと安易な医療提供の享受につながるとの見解から、交付税にペナルティーを科するという国の制度が地方からの要請により撤廃され、この事業が可能となりました。また、国保の管理が市町から県に移管され一体的な運用となります。このことにより市町間で保険料の増減が予想されますが増加市町においては激変緩和の為の方策が求められます。

3 土木・農業関連予算

- 吉野瀬川ダム整備事業: 付け替え道路の建設と、乾いた状態で工事を行うためのダム本体工事の前工程となる転流工の着工。 6億2000万円
- ふくいワインカレッジ研修事業: ワイナリー開業に向けた知識習得研修、栽培・醸造実習(定員10名)を行うことにより、県産ワインの生産者を育成し、県産の「ふくいワイン」による中山間地域の振興を図る。 1,100万円

吉野瀬川流域の住民の方々念願の吉野瀬川ダムの実質的な着工となりました。また、白山・安養寺の農業ビジネスセンターを拠点としワインカレッジが開設されます。ここでブドウの栽培から醸造までを学習することになりますが、製造のみならず、ワイン愛好家が訪れたいようなアグリツーリズム(農業体験旅行)に資する施設としての整備を要望しました。



<県政ニュース16 ~ JA越前たけふ農協の取り組みについて >

政府の農協改革のモデルになるような活動を続け、全国メディアにも取り上げられることの多いJA越前たけふ農協ですが、今回は政務活動の一環として、同組合による大手外食産業への市産米「日本晴」のトップセールスに同行させて頂きました。

訪れたのは東京、お台場のショッピングセンター「ダイバーシティ」にて営業を行っている高級回転ずし店の「海王」。「海王」は、多種のブランドで全国に200店舗以上の店舗展開を行っている新興外食産業企業、株式会社ガーデンのブランドの一つです。



今年度から県内12のJAを一つに合併し効率化を図ることを検討する協議会がスタートしますが、結果はどうかになるにせよ、他のJAに比べ収益性、財務体質に勝るJA越前たけふ農協の強みが薄まってしまうのでは何のための合併かわからなくなってしまいます。この行方もしっかりフォローしていきたいと考えています。



通常、寿司には新米が向かないというのが定番の意見なのですが、JA越前たけふ農協とガーデンでは新米のおいさを生かしながら寿司に合う日本晴をセールスポイントとして協力し合いプロモーションを行っているらしいです。

直営スーパーの中に大手コンビニを誘致したり、保険会社とのタイアップで健康維持器具の販売をしたりと常に新しい取り組みに挑戦している同組合ですが、お客様に直に接し、お客様の近いところで営業努力を行っているその活動には頭が下がる思いがします。

宮本たかしダイアリー



12月議会会派代表質問



2月議会産業常任委員会



フェンシング見延和晴選手
スポーツ文化大賞受賞



スポーツ少年団
ドッチビー大会



衆院選 高木候補と



愛媛国体出場監督・選手激励会



ロンドン五輪 卓球銀メダリスト
平野早矢香さんと



総社通り商店街の皆さんと